



あかさか

令和2年(2020年)
8月31日
第6号(9月号)
千早赤阪村立赤阪小学校

赤阪小学校 で 検索 
http://www.chihayaakasaka.ed.jp/akasaka-elm/

4ヵ月間の2学期スタート

校長 當麻 裕彦

例年に比べると短い夏休みも終わり、2学期が始まって1週間が経ちました。2学期は8月24日(月)から12月24日(木)までちょうど**4ヵ月**という長い期間となります。新型コロナウイルス感染症がなかなか沈静化しない状況下での学校生活では、引き続き、体調チェックシート確認、マスクの着用、密を避ける工夫、手洗いや消毒の徹底などの**感染予防対策**を講じながら、歌唱や器楽演奏、マット運動なども含めてなるべく通常の内容を学習できるように工夫して進めてまいります。ご理解、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

ここ最近では、買い物などに出かけても、ほぼ全員の方が**マスク**を着用され、入店の際には**手指消毒**をする姿も日常的となりました。レジに並ぶときも**ソーシャルディスタンス**を意識するようになり、そういった行動が**生活習慣**として定着してきました。また、熱中症予防の観点から、運動する時や十分な距離がとれるときは、マスクを外しても構わないことも知られてきました。このように、この数ヵ月の間で私たちにとっては「**新しい生活様式**」が当たり前となりました。「**かつての日常**」が、まだ先にならないと戻らないのであるならば、「**新しい生活様式**」を踏まえた上で感染リスクを減らしながら日常生活を送ることが大切となります。

さて、人々の行動がここまで変わったということから、地球環境のための行動ということについても考えました。1学期に、5年生が国語科で「**環境問題**について報告しよう」という学習をしていました。それは「**地球温暖化**」や「**プラスチックゴミ**による海洋汚染」など子供たちが興味を持った問題を深く調べて、分かったことを分かりやすくまとめて発表するという学習でした。子供たちは環境のために自分たちができることをしっかりと考える事ができていました。プラスチックゴミといえば、**レジ袋**が有料になって、レジ袋を使わないでエコバッグを持参する



5年生「環境問題について報告しよう」

このように、地球環境のための**人々の行動**が変わった気がします。私も、ハンカチやティッシュをポケットに入れるときにレジ袋も入れるようになり行動が変わりました。このような一人ひとりの**行動の変化**、それは環境問題克服のための**大きな力**になると思います。地球環境を考えた行動は、森林の伐採削減や石油の消費削減などにも関係あり、地球規模で取り組むべき課題も多くあります。今こそ一人ひとりの行動が変わることの力を実感して、新型コロナウイルス感染症や地球環境問題までも克服していききたいものです。

9月の予定について

1	火	
2	水	委員会活動 身体測定5.6年 PTA実行委員会 心と体とくらしのアンケート
3	木	心臓精検
4	金	大阪880万人訓練
5	土	くすのき土曜学習会
6	日	
7	月	給食時指導2年 身体測定3.4年 運動会練習開始
8	火	児童朝礼
9	水	※諸費2ヶ月分引き落とし
10	木	身体測定1.2年
11	金	
12	土	くすのき土曜学習会
13	日	
14	月	
15	火	学校安全の日 防犯ブザー点検 登校指導
16	水	おさかなデー1年 社会見学「近つ飛鳥博物館」6年
17	木	給食時指導3年
18	金	★短縮校時1.2年5限3-6年6限
19	土	くすのき土曜学習会
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	秋分の日
23	水	運動会全体練習 係打合せ
24	木	運動会全体練習
25	金	
26	土	中学校体育大会
27	日	
28	月	
29	火	児童朝会
30	水	運動会全体練習 修学旅行前健診6年

★は短縮校時 下校バス時刻も変わります

2学期の学習

◆7時間授業の基本時程について

1時間目 8:40~9:20
2時間目 9:30~10:10
3時間目 10:30~11:10
4時間目 11:20~12:00
給食 12:00~12:40
5時間目 1:20~2:00
6時間目 2:10~2:50
7時間目 3:00~3:40

(短縮校時では5時間目、または6時間目で終了する日もあります。また、学年や曜日によって、6時間授業になる日があります)

◆学校行事について

「運動会」は、10月3日(土)
8:30開始12:30終了
で開催予定です。

その他の行事については、行事の内容とそのときの世の中の状況からその都度判断しますので、今の段階では決定はできません。急な判断になることもあるかと思いますがよろしくお願いいたします。

◆トイレ掃除について

1学期は教職員のみで行っていましたが、手洗い、消毒の徹底や使い捨て手袋の使用など方法を工夫して、子供たちによるトイレ掃除を再開します。

運動場環境整備作業

例年PTAで行っている環境整備作業を今年には行いませんでしたが、8月22日(土)にグラウンドゴルフ愛好会や森屋・水分の各老人クラブの皆様がお越しになり、運動場の草引きなどの整備をしてくださりました。暑い中本当にありがとうございました。

諸費引き落とし日について

9月9日(水)に8月9月の2ヵ月分引き落とします。JA通帳の残高をご確認ください。

※裏面に萩生田文部科学大臣からのメッセージを印刷しています

保護者や地域の皆様へ

学校において、児童生徒等の学びを確保するための取組を進めることができておりますのは、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜っているからであり、心より感謝申し上げます。

しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ解明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多くと思います。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。私からは、保護者や地域の皆様に次の二点をお願いいたします。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒等や教職員、学校の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。

そして、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せずに、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。

感染を責める雰囲気が広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。その点からも差別等を防ぐことは必要なことです。

第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。また、大学についても、感染症対策の徹底と、対面による授業の検討も含めた学修機会の確保の両立をお願いしております。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒等や学生が、必要となる力を身に付けていくことができるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。政府として、分かりやすい広報に努めているところですが、保護者や地域の皆様におかれても科学的な知見等を日々の生活に生かしていただきたいと思います。

令和二年八月
文部科学大臣 萩生田 光一

児童生徒等や学生の皆さんへ

新型コロナウイルスが広がってから、皆さんは、学校はどうなるのだろう、この先どうなるだろうと、不安だったのではないのでしょうか。新しい学期を迎えるに当たって、皆さんに伝えたいことがあります。

まず、感染症にかからないようにするには、いくつかの方法があります。すでに皆さんが取り組んでいるように、話をするときにはマスクをしたり、手を洗ったり、具合が悪い場合には学校を休んだりしてもらうことです。そして何より、健康的な生活を送ることが大切です。それでも、これまでも皆さんは風邪をひいたり、インフルエンザになったりしました。今はさらに新型コロナウイルスが課題になっています。

この三つは、症状がよく似ています。ですから、今後、皆さんの誰もがこうした症状を経験することがあるでしょう。具合が悪い人の中には、新型コロナウイルスに感染したと診断される人も身近な人の中から出るかもしれません。もちろん、それが友達だと分かたら自分は大丈夫かなど不安になることもあるでしょう。

新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。学校やクラスの中で感染することは悪いことだという雰囲気ができてしまうと、新型コロナウイルスに感染したと疑われることをおそれて、具合が悪くなくても、その後は言いだしにくくなり、病院に行くのが遅くなったりしてしまいます。そうすると、さらに皆さんの地域で感染が広がってしまうかもしれません。

感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るよう励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えてほしいと思います。もし、自分が感染したり症状があったりしたら、友達にはどうしてほしいかということを考えて行動してほしいと思います。

すでに、感染した人達が心ない言葉をかけられたり、扱いをされたりしているという事例が起きています。こうしたことが皆さんの周りでも起きないように、皆さんにも協力してほしいのです。

また、高齢者や病気がちの人は、感染すると症状が重くなってしまう危険があります。自分は元気だから大丈夫ということではなく、そのような人たちに感染させることがないように、思いやりの気持ちを持ってほしいと思います。

新型コロナウイルス感染症が広がり、皆さんの日々の生活は一変したと思います。以前のように、友達と会いにくくなり、スポーツや文化に触れる機会も少なくなり、将来への不安やストレスを抱えている人も多いでしょう。

これまでも、私たち人間は、新型コロナウイルスのような新しい病気を経験してきました。そのたびに、世界中の研究者が病気の原因を探り、予防方法を見つけたり、薬の開発をしたりしてきました。そして、私たちは、病気と共存していく。この歴史は繰り返されています。新型コロナウイルスも研究が進んで解明されれば、予防と治療ができるようになり、新たな共存生活が始まります。

私たち大人は、皆さんの応援団として、将来の見通しを持ち、未来の社会の担い手である皆さんが学ぶ機会、遊ぶ機会、交流する機会を最大限作っていきます。それまで、皆さんは今自分ができる予防をしっかり行い、将来の目標を持ち、家庭や学校で日々の学びを続けてほしいと願っています。

令和二年八月
文部科学大臣 萩生田 光一